

2024_0901「秋の赤いオーロラ（写真）」日々の理科 3678号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

太陽黒点の活動が盛んで、8月から明るくくすばらしいオーロラの出現が続いています。秋は上空の太陽光等の影響で、紫色のオーロラの出現が多いのですが、今年はたびたび赤いオーロラも観測されています。

オーロラの色は「緑」「青」「紫」「赤」「桃色」などがあります。通常は「緑」が一番多く、ヒトの目にも感度が良い色なので、現地で肉眼で見えるオーロラは、ほとんどが緑色です。秋や春には「紫色」もよく現れ、私も現地で何度か見ました。「桃色」は、オーロラを形成する荷電粒子が極めて活発な「ブレイク・アップ」（いわゆる「オーロラ爆発」）の時だけに見られ、バンド・オーロラ（カーテン状のオーロラ）の下端部に出現します。

「赤」は珍しく、しかもヒトの目の感度が悪いので、写真には写っても肉眼ではなかなか見えません。この写真の赤いオーロラはかなり強いので、恐らく現地の人は肉眼で見えたと思います。写真は東向きに新しく設置されたカメラでとらえました。

(2024年8月下旬／スウェーデン・ヨックモック郡・ポルユス駅／東京から遠隔観測)

